



特集記事

— 地域作業療法のススメ 3 —

目次

- ・巻頭言 ～「分からないこと」をわかっている大切さ～
- ・活動報告（2022年5月～2022年7月）
- ・特集記事「地域作業療法のススメ③」
- ・私の職場の強み
- ・突撃！となりの作業療法士
- ・岐阜県リハビリテーション協議会便り
- ・機関誌「岐阜作業療法」論文投稿のお願い



## 「分からないこと」を わかっている大切さ

岩砂病院・岩砂マタニティ  
萩野 勝也

岩砂病院・岩砂マタニティに入職して、早いもので17年が経過します。今回、巻頭言を担当する機会を頂いたので、私自身が日々実感していることについてお話させていただきます。

臨床現場に身を置きながら感じる事は、キャリアを積んでも迷うこと・悩むことが多いということです。その時に大切なのは、「自分が理解していること」と「理解していないこと」がきちんとわかっていることだと思います。

自分が理解できていないことに気づいているから、他のスタッフに相談したり、自己研鑽したりするなどの行動につながります。逆に自分の行っているアプローチに何の疑問も持たず、わかっていることに気づかないと、そのまま過ぎ去ってしまいます。キャリアを積むほどそういった気づかない危険性があるかもしれません。どのように自分のことを評価するかで、その後の行動に与える影響は大きいと感じます。

私自身、心配性であり、相談して周りの部署やスタッフに助けてもらうことがよくあります。時間がかかり非効率なことが多いですが、結果的によりよい人間関係が築けたり、よいアプローチに辿り着くこともあります。

我々の現場では、色々なスタッフが在籍しています。年齢や個性など様々ですが、そのスタッフにしかない「持ち味」に私自身気づかされることがよくあります。職業柄、スタッフや患者さんにおいて、ついつい問題点にばかり目が行きがちですが、良い点に気づかされることほど嬉しいことはありません。

若手であってもベテランであっても、分からないことを自覚して素直に行動できる職場づくりが現在の私の仕事だと感じています。一朝一夕で職場の風土が作れるわけではありませんが、試行錯誤と笑顔で日々奮闘しています。そんな中でみられるスタッフの頑張りや成長、患者さんの笑顔が私の喜びや支えとなっています。

今後は、自分と職場の足元をしっかりと固めて、医療や地域が活性化できる暮らしを支えたいと思っています。経験年数が長くなり、忙しい毎日を送る中、周りの声に素直に耳を傾け、「分からないこと」に少しでも気づける自分でありたいと日々感じています。



# 岐阜県作業療法士会 活動報告

2022年5月～2022年7月

## 【記載内容】

日付／内容（場所）

\*備考（研修会のテーマ・参加者数など）

### 全部局

7月16日／岐阜県作業療法士会 理事会  
(web)

### 会長

5月8日／岐阜県多「食」種連携研究会議  
5月22日／岐阜新聞社面談  
キッズタウンについて  
(平成医療短期大学)  
6月11日／47都道府県委員会 (web)  
6月26日／岐阜県理学療法学会 来賓出席  
(じゅうろくプラザ)  
7月1日／参議院通常選挙 激励集会  
(岐阜県水産会館)  
7月11日／岐阜県リハビリテーション協議会  
(web)

### 社会局

広報部（会員向け）

5月31日／広報誌「ごったに」105号 発送

### 地域リハ推進部

5月9日／岐阜県 PT・OT・ST 士会合同地域  
包括ケアシステム推進会議 (web)  
5月16日／各務原市ウォーキング推進事業ア  
プリ選定会議 (各務原市役所)  
6月2日／日本OT協定関連研修会  
(東濃厚生病院)  
6月22日／フレイルサポーター養成研修  
(那加福祉センター)  
7月16日／フレイルサポーター養成研修  
(鵜沼福祉センター)

### 生涯教育部

7月30、31日／第1回臨床実習指導者講習会  
(平成医療短期大学)

### 事務局

5月23日／新人オリエンテーション  
(平成医療短期大学)

### 総会運営部

6月26日／定時社員総会 (平成医療短期大学)



Q1. 作業療法士が地域支援事業に参画するために必要な知識・技能等がありますか？

A1. あります。ただし、臨床等での作業療法経験は重要で、特に、対象者のニーズと健康状態・生活機能・背景因子の相互理解、過去・現在・未来にわたる人生の価値や生きがいの捉え方、疾患・疾病の成り立ちと人体構造の理解に関する知識・技能等は強みとなります。それ以外に地域支援事業では、以下のような知識・技能・態度が必要となります（一部紹介）。

- ① 健康寿命の延伸と社会参加における相互関係の理解（知識）
- ② あらゆる人々の健康支援に向けた社会参加や役割の継続と生きがいの関連（知識）
- ③ 地域包括ケアシステムや地域支援事業に関連する法規と方針の理解（知識）
- ④ 健康支援戦略としてポピュレーション戦略とハイリスク戦略に関する理解（知識）
- ⑤ 健康生成論や行動変容理論に関する理解（知識）
- ⑥ 地域診断で対象地域を知る力と対象者を知る力（技能）
- ⑦ 医療福祉専門職以外の人々に対して専門用語を使わずに説明する力（技能）
- ⑧ 企画・提案力・プレゼンテーション能力（技能）
- ⑨ 医療福祉専門職・行政や地域包括支援センターの職員・地域住民等との連携（技能）
- ⑩ 本業・兼業・副業等に関わらず責任感を持つこと（態度）



これらの知識・技能の一部を養成する複数の人材育成研修会が開催されます。詳細は、募集概要等が決定後、PT 士会の F-net や OT 会員向けメール配信にて周知します。

#### <直近の人材育成研修会のご案内>

- ・地域包括ケアシステム推進研修①(地域ケア会議) 令和4年9月24(土) Web開催・無料
  - ・地域包括ケアシステム推進研修②(介護予防事業) 令和4年9月25(日) Web開催・無料
- 両研修会に共通して、開講時間は8:30～17:00(仮)、参加者はPT・OT・ST

Q2. 現在、本業として臨床に従事していますが、地域包括ケアシステムは自身にも関係ありますか？

A1. 病院・介護施設そのものが当該地の地域包括ケアシステムの一要素ですから、そこでの臨床作業療法は深く関与しています。また、所属先の許可を得て地域支援事業にもご参加いただきたいです。当ケアシステムや地域支援事業を知れば知るほど「**臨床の考え方**」が変わる可能性があります。

実例) ADL 自立で自宅退院した 60 歳代男性 (複数例) が病前のように社会参加できなかつた理由





第24回

# 私の職場の強み

## 和光会グループ 訪問看護ステーション

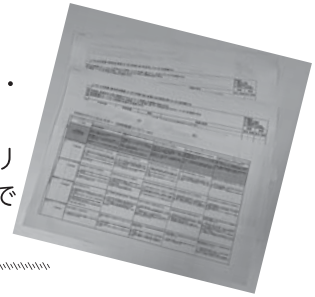
4つの事業所、2つのサテライトを備え、PT・OT・STが在籍している訪問看護ステーションです。

### クリニカルラダーの導入



療法師のラダーを導入し、客観的指標に基づき実践能力を評価・担保する教育体制をとっています。

ラダーの活用により、自分が学ぶべき内容が明確となり、キャリアとスキルの向上を目指します。訪問リハビリの経験がない方でも、OJTと研修システムでサポート、人材育成しています。



### ICTを活用した業務効率化



多職種が効率よく連携を図れるよう iPad と連携システムを活用し情報共有、業務の効率化を行います。訪問先から端末を使用した相談、連携が取れる環境で安心感があります。また ICT を活用したカンファレンス・勉強会等で技術知識の向上を図りながら業務を行います。

#### ● 情報共有

・多職種（医師・看護師・薬剤師・ケアマネージャー・ヘルパー等）がメンバーとなり記録を閲覧、院外や地域の連携機関とリアルタイムで情報共有。

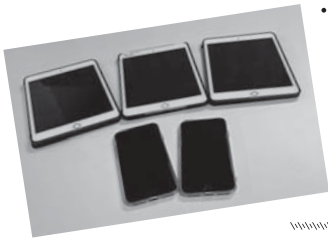
・訪問時の変化や傷などの写真を投稿、医師や他職種への相談や判断を仰ぐ。

・介助方法や環境調整のポイントなどを動画で確認、他職種へ伝達。

#### ● 業務効率化

・訪問中の空いた時間に訪問記録を入力

・カルテやスタッフのスケジュール、訪問先の地図の確認など



### その人らしさを支える連携・協働



難病や癌末期のご利用者やご家族に寄り添い「その人らしい生活」をサポート、様々な変化に揺れ動くご利用者、ご家族の気持ちに寄り添います。

－事業所の取り組み一例です－

・がん末期のご利用者が「家族と桜を見たい」と希望され

た為、看護師とセラピストで協働、多職種と連携し堤防治いの桜を見に行く支援を行いました。ご利用者、ご家族共に笑顔で喜ばれていたことが印象的でした。

・呼吸器を使用しているご利用者が子供の学校行事に参加することや外出できるよう医療・介護従事者で多職種連携し支援を行いました。ご利用者の「出来る」可能性を引き出すことで活動の幅が広がりました。





## 作業に焦点を当てた 急性期作業療法

岐阜県立多治見病院

奥田 健太郎

私は、急性期領域で内部障害の方を中心に担当させて頂いています。人工呼吸器管理の方の離床を行う事もあります。日々大変ですが、クライアントやスタッフと共に社会復帰に向けて介入出来ることにやりがいを感じています。将来、急性期でもクライアントの作業に焦点を置いた実践が出来るようになりたいと思っています。

最近では、ADOC などを用いた作業療法面接を通して、目標設定を共同的に行うようにしています。目標設定を行うと、クライアント自身も介入内容についての目的を意識して取り組んで頂けますし、獲得したい作業や獲得しなければならない作業について表出して頂けるようになります。

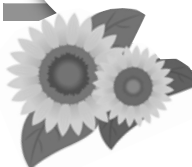
急性期領域は、病態が不安定であったり、介入時間が短かったりと十分な介入を行う事が難しい時があります。クライアントが「その人らしい生活」を送れるよう、主体性や内発的動機を尊重した介入ができるように日々努力していきたいと思っています。



略歴：

平成 30 年 平成医療短期大学  
作業療法専攻 卒業

平成 30 年 岐阜県立多治見病院  
入職



## 一社) 岐阜県リハビリテーション協議会だより (第13回)

文責：会長 柴 貴 志 (岐阜県立多治見病院)

先月、今年度の第1回理事会が行われました。まだまだ整備されていないことがあります。当協議会の会費や派遣及び研修会などでの講師料、部局員の活動費(日当)など様々な点で整備が必要で現在規定づくりに追われております。更に、事業が拡大し、他領域の方々と渉外活動をする際に、協議会オリジナルな「名刺」が必要にあり、名刺に刻印したい協議会のシンボルマークのデザイン進めております。おしゃれな名刺になりそうで楽しみです。忙中楽ということでしょいか。

丁度、第1回理事会を開催したのが参議院選挙投票後でした。リハビリ職の処遇改善やリハビリに関する小委員会の議論の取りまとめ、令和6年度の医療・介護報酬同時改正に向けてリハビリ業界を背負う存在として不可欠な方であり、総力を注入し応援をしていた小川克己氏が僅差で続投をすることが出来なく、まことに残念でありました。小川氏のみならず全国のリハビリ関係職種にとっては、押し寄せる荒波に耐える3年になりそうです。荒波に打たれて、国政に真摯に目を向ける姿勢も専門職として必要なことと認識を深めていくことになりそうです。

### 機関誌「岐阜作業療法」論文投稿のお願い

日頃より機関誌編集部のご協力頂きまして、厚く御礼申し上げます。

この度、機関誌「岐阜作業療法」発刊に向けて準備を進めておりますが、現在、論文の投稿が少ない状況です。

岐阜県作業療法学会だけでなく、日本作業療法学会等、他学会で発表された方も、論文として岐阜作業療法に投稿してみたいかかでしょうか？

「論文を書くのは難しそうだ」と思っている方も多いと思います。査読等の手続きを通して、掲載までサポートしますのでご検討頂けると幸いです。よろしくお願ひ致します。

お待ち  
してます。



機関誌編集部 宇佐美 知子

E-mail : usami-dort@toyota.ac.jp



2022年7月

岐阜県全会員数 629名 (休会者を含む)

県士会所属施設 175施設

PT・OT・STのための  
総合オンラインセミナー

PDF対応

## 法人様向けパンフレット お送りいたします

資料請求の手順

QRを読み込んでアクセス

リハノメHPトップのバナーをクリック

または 資料請求はこちら

### リハノメって?

「リハノメ」はPT・OT・STのための、どこでも学べるオンラインセミナーサービスです。各分野の専門家が臨床経験や研究成果に基づいた知識・技術をお届けいたします。

法人プランには、「法人管理機能」が備わっており、職員の状態状況を正確に管理することができます。

その施設が その動画を 何が視認したか

| 少人数向けプラン                      | リハノメパスA                               | リハノメパスB                               | リハノメパスC                       |
|-------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------|
| 4名まで                          | 10名まで                                 | 30名まで                                 | 人数無制限                         |
| 2,566円/月<br>人数×2,566円/月となりです。 | 15,400円/月<br>1人あたり2,566円/月で人数を追加できます。 | 30,800円/月<br>1人あたり2,566円/月で人数を追加できます。 | 92,400円/月<br>※契約価格は全て税込となります。 |

リハビリテーションを「かたち」にする会社  
〒461-0004 東知原町古旗市東区栄1丁目26-12 IKKO 創用ビル6階  
Tel.052-325-6611

お問い合わせはこちらまでお願いいたします▼  
seminar@gene-llc.jp  
Tel.052-325-6611

— 都会には無い働き方はここから —  
スキル = 自分の為 + 誰かの為  
私たちの経験と技術で地域を変えよう

## 長い人生、 この町で経験できる質と量という意味で、 君のキャリアは豊かになっていこう。

- 1) 管理職 月額30万円～
- 2) スタッフ 月額22万円～
- 3) 賞与 年間2.5ヶ月(実績ベース)  
休日 毎週土日・年末年始(祝日勤務有)  
年間休日数112日(昨年度実績)有給制度あり
- 4) 通勤手当あり
- 5) 勤務時間 8時～17時
- 6) 社会保険完備(労災保険・雇用保険・健康保険・厚生年金)
- 7) 退職金制度あり
- 8) 教育研修制度あり
- 9) 勤務内容 デイサービス内での機能訓練または訪問リハビリ
- 10) 勤務地 リハビリデイサービスひまわり高山店または古川店

リハビリデイサービスひまわり

見学などのお問い合わせは、電話かメールでお気軽にご連絡ください。

☎ 0577-77-9530 ホームページ  
(リハビリデイサービスひまわり 担当: 渡部・米村)

mail: dayhimawari83@yahoo.co.jp  
HP: https://www.himawari-g.net/

## 印刷 (有) いすくら

〒501-2514 岐阜市三輪宮前 164-1  
TEL.058-229-6091 FAX.058-229-6093  
isukra@muse.ocn.ne.jp

きょうりょうかい  
杏嶺会 リハビリテーション

法人だからできる  
選べる職場 広がる経験

|  |   |
|--|---|
| <h3>回復期</h3> <p>急性期との迅速な連携</p> <p>尾西記念病院</p> | <h3>急性期</h3> <p>症状の安定化と早期離床を目指した急性期総合病院でのリハビリテーション</p> <p>一宮西病院</p> |
| <h3>生活期</h3> <p>生活の質の向上</p> <p>上林記念病院</p>    | <h3>小児</h3> <p>子ども発達センター</p> <p>上林記念病院</p>                          |
| <h3>高齢者</h3> <p>老人保健施設やすらぎ</p>               | <h3>重症心身障害児者</h3> <p>一宮医療センター</p>                                   |

現在の求人部署

- 一宮西病院 (急性期)
- 上林記念病院 (回復期・生活期・精神科作業療法)
- 尾西記念病院 (回復期)

連絡先 平木 淳 (ひらき じゅん)  
hiraki@anzu.or.jp 070-1266-1279

社会医療法人 杏嶺会  
〒494-0001 愛知県一宮市間宮字平1番地

## 広報部 (会員向け)

岐阜県作業療法士会ニュース

「ごったに」編集

岐阜県作業療法士会 (広報部・会員向け)

山田病院

〒501-0104 岐阜市寺田7丁目110番地  
TEL. 058-254-1411  
FAX. 058-254-1413

山内ホスピタル

〒500-8381 岐阜市市橋3丁目7番22号  
TEL. 058-276-2131  
FAX. 058-276-1501